

映 画「しあわせのパン」のヒットが続く中で、洞爺湖観光情報センターに特設されている同映画の展示コーナーに、4月18日から劇中で使用された小道具などが新たに約20点加わり、訪れたファンを喜ばせています。

同コーナーは、公開に合わせて開設され、今回は、パンカフェ「マーニ」の看板、「ツキウラ」のバス亭など撮影用に作られたものや三島監督の直筆の創作ノートなどが追加されました。

「多くのファンに洞爺湖を訪れてもらい、ロケ地を楽し



記念撮影を楽しむ観光客

んでほしい」と洞爺湖温泉観光協会では、観光シーズンを迎え、多くの集客に期待しています。

「しあわせのパン」展示コーナー 新たに20点追加

洞爺湖の食で地域活性化 第2回「食」の座談会

洞 爺湖の食の魅力を再認識し、発信する手立てを考える第2回座談会(洞爺湖温泉観光協会食事業委員会主催)が、4月19日とうや水の駅で開かれ、生産者や観光関係者約60人が参加し、洞爺湖の農産物の活用と地域の活性化についてざっくばらんに話し合いました。

討論は、8つのグループに分かれて行なわれ、「これから少量多品種で消費者のニーズに応えていくべきだ」「ジオパークを活用し、行政と連携しながら食材をアピールしていったら良い」など多くの意見が出されました。次回は



多様な意見が出された座談会

漁業関係者との座談会を6月20日に予定しています。

美しいアンサンブル駅に響く 虻田吹奏楽団コンサート



美しい音色を響かせた駅コンサート

4月22日、
虻田吹奏楽団(河畑敦史代表)が、JRとうや駅の駅交流センターで、

「駅コン2012」を開き、迫力あるサウンドで、訪れた駅利用者らを魅了しました。

定期演奏会や町内外でのコンサートを行ってきましたが、駅での演奏会は初めて実施。

「銀河鉄道999」「A列車で行こう」「上を向いてあるこう」など全12曲を演奏し、春本番を迎える洞爺湖町の玄関口に美しいアンサンブルが響き渡りました。



春のこころ良い陽射しの中を歩く参加者ら

噴 火の痕跡を辿り、動植物の再生の様子を観察しながら

自然を楽しもうという「金比羅火口ガイドウォーク」(洞爺湖ビジターセンター主催)が4月21日催され、札幌、室蘭などから8人が参加しました。

同センターの佐々木伸さんをガイドに、同火口周辺を1時間30分ほどかけて散策し、有珠山の遅い春を満喫しました。

登別市から参加した親子は、「子どもが、昭和52年の噴火の時に生まれたので、一度有珠山と一緒に登りたかった」と記念のウォークを楽しんでいました。

春の有珠山の自然を観察 金比羅火口ガイドウォーク

まちのわだい